**４**

Ⅲ－(1)－③－１

しょうひんか　　かいせつ

【商品化】解説

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １  だしなみ | ●サービスでのは、おにしてちよくをいして　いただくためのです。おが、なちにならないように、や　　だしなみに、にをけることがです。  ●でをうは、ににをらなければなりません。　　　められたでしくいをするとともに、をしたなものをに　　けるようにしましょう。  ●のをべてみましょう。かってのは、エプロンをしくしています。こののでは、にひもきのエプロンをし、エプロンがのでできるようしくひもをめましょう。また、にちょうびがけることがないよう、くびましょう。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ≪ふさわしい≫ |  | ≪ふさわしくない≫  ががっている  ひもがちている。  のがている |   ●ネットは、にのなどがするのをするためのものです。にのをえておいたり、ねてめておいたりするなどしましょう。  ●は、エプロンのフックにめ、になるようにけましょう。  ●をながら、だしなみをし、しくしましょう。  ●だしなみは、くうこともです。のときから、2にえられるようにしましょう。  ※まくりをするは、まくりげたでしてください。 |
| ２  の | ●をするときは、はっきりとしたでしましょう。のるいや　　　はっきりとしたけえは、でのコミュニケーションのです。よりいをするためには、のとのからのコミュニケーションがとてもです。  ※こののでは、をめるとして、をっすぐげて、するのをて、はっきりとをめるをしましょう。  Ⅲ－(1)－③－１  Ⅲ－(1)－③－１ |
| ３  い | ●いはにってにいましょう。いがいと、ができず、などのになります。また、いがすぎても、がなくなってしまいます。１のいをしましょう。  ①-1　でをする。（ア のと→イ の→ウ のけ→エ →オ ）  -2　いをのにつける。（をめる。）  -3　のでにてる。  -4　よく（ア～オ）のを5こすりわせてう。    イ　のは、をんで  ののをこする。  ア　のや、のを  もうののでこする。    エ　は、もうの  ののでこする。  ウ　のけは、をもうののでみながらこする。        ※ブラシはをにしてきましょう。  オ　は、もうの　のでみながらこする。  -5　のは、ブラシをってう。  -6　ですすぎいをする。（ア のと→イ の→ウ のけ→エ →オ ）  ②　にをびらさないように、やをって、をりましょう。  ペーパータオル（２）をって、がらないようにきりましょう。が　　　　っているですると、かえってがすることになります。ただし、ぺーパータオルのいにならないようにしましょう。  ③　ったしの上は、にするがちよくえるよう、ペーパータオルでをきりましょう。シンクにいのがっているは、でしましょう。  ※ったはペーパータオル(２)をって、１りいたのでです。  ④　アルコールをつけて、にりみましょう。いとじように、をそれぞれこすってりみましょう。（ア のと→イ の→ウ のけ→エ →オ ）  ※はにりかるまで、なをらないようにしましょう。  ※こののでは、いのを230としています。のので、しいいのをにけていきましょう。はがかかるかもしれませんが、りしうことが、につながります。 |
| ４  の | ●がざると、おがしていできなくなります。おのにもわります。やきさ、さなどにおいて、にならないを、きちんとけるようにしましょう。  ●をけたら、ずコンテナにれ、とけるようにしましょう。  **５**  Ⅲ－(1)－③－２ |
| ５  れ・ | ●はかりは、ずのいやすいにさせ、よくをしましょう。  ●をにれます。と、となどがたってがしないようにけ、にがかないようにをけましょう。おをにするのとじように、つつのもにいましょう。  ※いろいろなのめをして、のをり、れのやりをしましょう。  ●がされたの重さにまるよう、はかりでしながら、にれるのをしましょう。  ●のように、れしたをデジタルのはかりにせて、がまったら、りをみましょう。がわっているときは、まださをっているです。がまるまでちましょう。  ※をはかりやのにとしたは、ずやれなどがないかをし、れをしましょう。にとしたは、として、コンテナにれましょう。  ※デジタルのはかりには、「」や「TARE」、「０」といているボタンがあります。これは、きというものです。とは、やのことをしています。のさをるときに、はかりにせているのさをいて、りたいのさだけをするです。  ※こののでは、のさはえずに、のさもめてしてください。  ●されたのをう。  ※やをしてあるので、があるは、でもをしましょう。  **６**  Ⅲ－(1)－③－３ |
| 6  じ | CIMG1215.JPG●のような「バッグシーラー」（シーラー）というをいます。シーラーは、のをじるです。のをシーラーののにしむと、じができます。カッターもいていて、なのをりとすこともできます。シーラーをうは、ずのいやすいにさせ、よくをしましょう。  ●シーラーをってにのじをしましょう。のをて、のじからまでのができないようにしましょう。にがありぎると、ののがこすれあってみやすくなります。のをねじる（３～４）ことで、をらしましょう。（シーラーでりわせたテープのずれは、しっかりができていればありません。）  ※カッターをって、をりとすことはいませんが、いろいろなのめをして、カッターのいにもれていきましょう。  ※に、のれやきなどについてのがあるは、にってしましょう。 |
| ７ | ●したを ラベルシールににきましょう。は、おにとってかりやすいことがです。あらかじめされたの、てにをくと、がくなります。  ラベルり  ●ラベルは、ののえやすいに、でしわのないようにりましょう。  ※こののでは、ラベルをけた、コンテナの中にべるようにしています。ラベルをるやコンテナのをさせるなどして、をくしていきましょう。 |
| ８  コンテナめ | ●のようにコンテナのからめてべることで、がし、ぶときにがきにくくなります。また、られたでもをたくさんべることができます。のいは、いつでもになくいましょう。  ※コンテナには、「オリコン」とばれるがあります。「オリコン」は、「りみコンテナ」のことをしています。  ※こののでは、コンテナのてはいませんが、ではでわなければなりません。コンテナのやけにもれていきましょう。  Ⅲ－(1)－③－４  **７**  () いめ  ()しいめ |
| ９  け | ●にをするときに、すぐにりかることができるように、をのにしくしましょう。をするたびに、いつもをしていては、いはできません。のもがきやすいりもです。  CIMG1296.JPG※こののでは、のあるに、テープをっています。（テープ）にわせて、あったにしましょう。はかりはでちびましょう。おやをにするのとじように、もにいましょう。 |
| 10  の | CIMG1267.JPG●がわったときのも、なのつです。なもえて、はっきりとしたでしましょう。をうで、・・は、とてもです。「・・」をうことを、からけておきましょう。  ※こののでは、がわったことのとして、をっすぐげて、するのをて、はっきりとしましょう。なとしては、があったことや、それをどうしたかについて、けえましょう。 |

**８**

Ⅲ－(1)－③－５